

- 1 教育事業名 「わくわく自然体験 in とかしき」
～Let's enjoy tokashiki～
- 2 ねらい 法人ボランティアがこれまで培った知識・技能・経験を活かし、自然体験活動における実践的な取り組みをとおして、ボランティアとしての意識の向上を図る。また、参加者に対し、集団宿泊体験をとおして、家族や仲間との交流、ふれあいの大切さや自然体験活動の魅力伝える。
- 3 期 日 令和元年12月14日（土）～15日（日）1泊2日
- 4 場 所 国立沖縄青少年交流の家
- 5 募集定員 100名 35組程度
- 6 参加人数 8名 3組
- 7 参加者内訳 幼児1名 小学生3名 大人4名
(男性5名、女性3名) (県内8名)
- 8 企画ボランティア 7名 (内当日参加3名)
- 9 実施プログラム

12	9:00		10:00	11:30	12:00	13:00	16:00				17:00	17:30	21:30		23:00		
月		集合	フェ	開講	昼	渡嘉敷の海で海洋研修				移	つ	タ	入	タ	貝殻写真立てづくり	就	就
14		受付	リー	式	食					動	ど	ベ	浴		寝	寝	
日											い	の	食		備		
12	7:00		7:40	9:00	12:00		13:00	13:45		14:15	15:30	16:40					
月	起床	つ	朝	ダッチオープン		昼	片付け		閉	移	フェ		泊港到着後				
15		ど	の	料理づくり		食	ゆとりの時間		講	動	リー		解散				
日		い	朝						式	乗							
			食							船							

10 事業の様子



【オープニング】



【オリエンテーション】



【大型カヌー】



【親子で海水浴】



【タベのつどいにてレク】



【貝殻クラフト】



【ダッチオーブンで鶏の丸焼きに挑戦】



【エンディング】



1 1 エピソード（参加者の声、アンケートより）

【参加者の声】

- ・丁寧に対応してくれて良かった。
- ・ボランティアの方の子供への接し方がとても良かった。
- ・火起こしや野外炊事では他の参加者との共同作業で交流する事ができた。
- ・子ども達が終始楽しそうに活動していたのが良かった。
- ・海洋体験では普段できない体験をする事ができた。

【ボランティアの声】

- ・各プログラム、楽しみながら参加者と接する事ができた。
- ・参加者の前で説明するのはとても緊張した。
- ・各プログラムの説明など、難しく感じる場面が多くあったが、先輩ボランティアや職員のサポートで参加者にうまく伝える事ができた。
- ・今回の経験を機会に、様々な事業でも積極的に前に出て行きたい。
- ・学校生活やバイト等あるが、今後もボランティア活動にもっと関わって行きたいと思う。

1 2 担当者所見

(1) 成果

- ・企画会議の他に集まれるメンバーで数回集まり細かい部分について話し合いを行うなど積極性を感じる事ができた。
- ・昨年度プログラムに組む事ができなかった「ダッチオーブン料理」を今年度行う事ができ、企画メンバーから「新しい野外炊事に挑戦し、成功する事ができて嬉しかった」との声があがった。
- ・予備日程となったため、参加家族が少なくなったが、参加者とボランティア、職員との距離が縮まり密度の濃い自然体験活動を楽しんでもらう事ができた。
- ・事業当日は大きなトラブルも無く、プログラムの先を見越した企画メンバーの頼もしい行動が随所に見られた。

(2) 課題

- ・企画メンバーの中には、オリエンテーション等が不慣れなボランティアもいるため、本番の動きを想定した事前練習を行う必要がある。